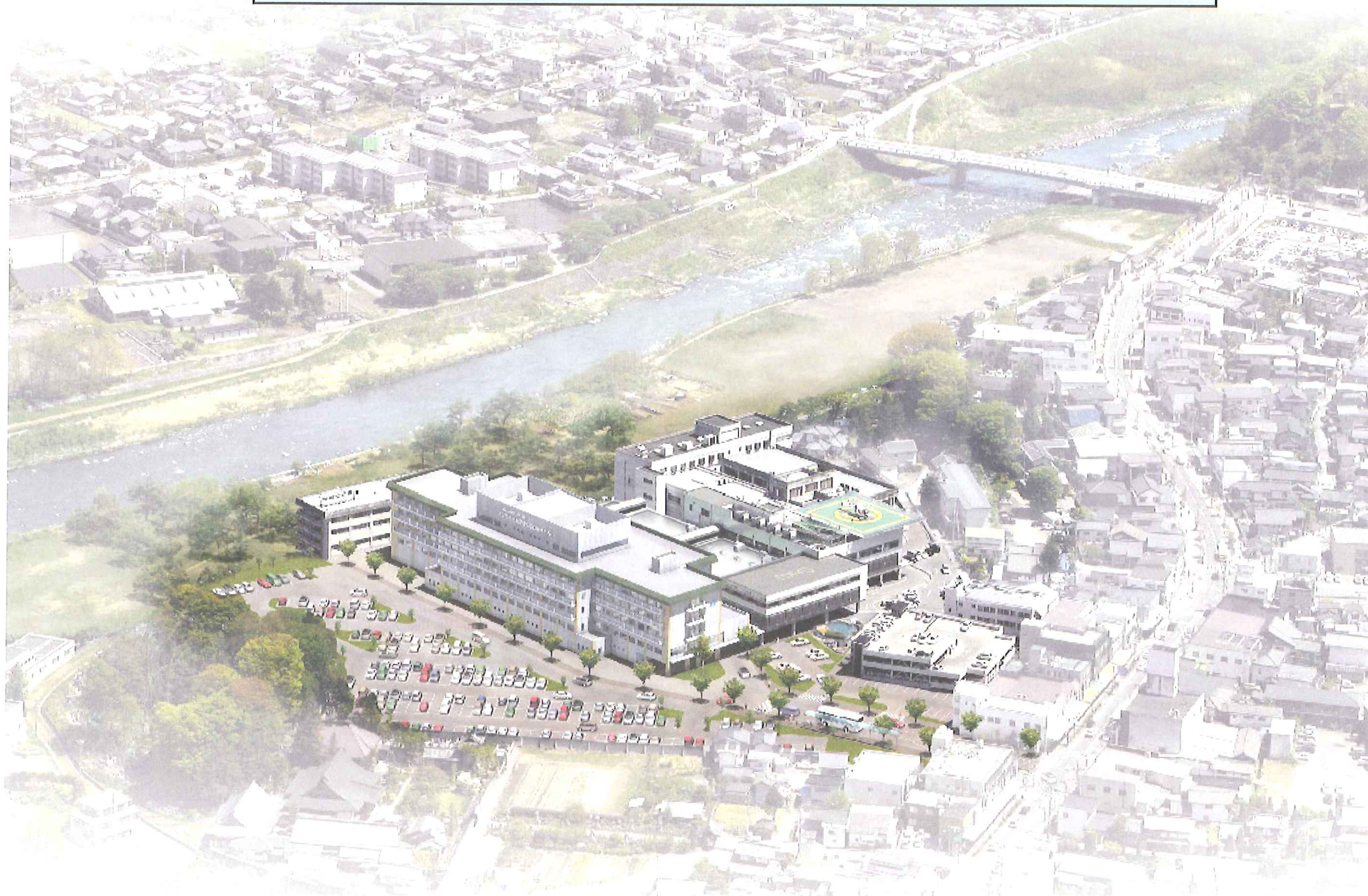


平成21年7月

臼田4地区住民説明会

資料作成：佐久総合病院

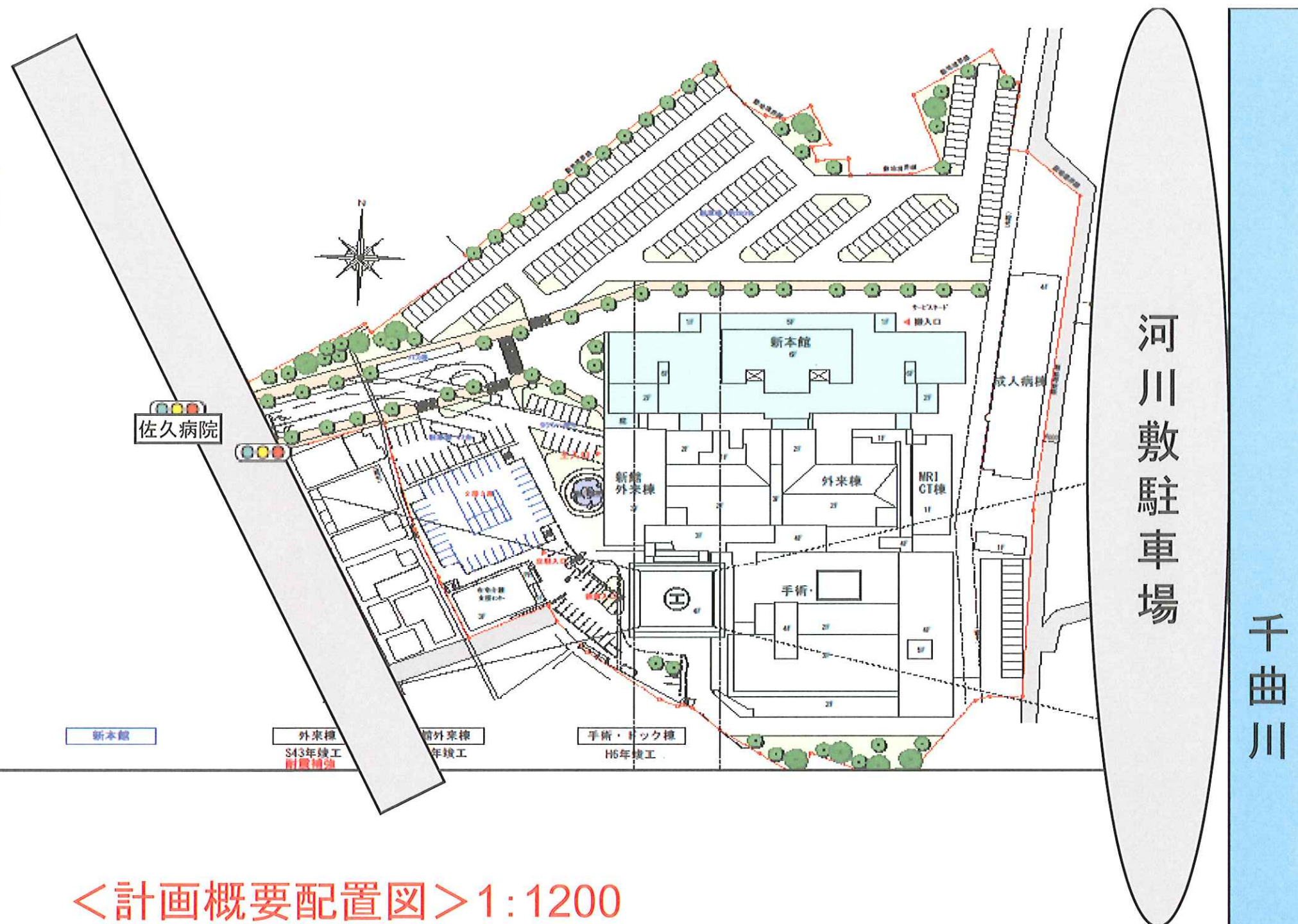
佐久総合病院 地域医療センター<鳥瞰図>



■計画概要

所在地 : 長野県佐久市臼田197
敷地面積 : 約31,900 m² (9,650 坪)
延床面積 : 34,800 m² (10,527 坪)
既存建物 : 20,800 m² (6,292 坪)
計画建物 : 14,000 m² (4,235 坪)

一般病棟	190床
回復期リハ病床	40床
緩和ケア一病棟	10床
精神科病床	60床
合計	300床



＜計画概要配置図＞1:1200
地域医療センター計画モデルスタディー

地域医療センター・基幹医療センターの機能・考え方

I. 佐久病院再構築計画の基本的考え方

佐久総合病院の再構築は、単なる病院の建替えではなく、佐久広域ひいては東信地域全体の医療供給システムの見直しに繋がります。従って、医師会の皆さんや他の医療機関のみならず、地域住民の方々のご理解とご協力が必要です。

- ① 佐久総合病院は、「いつでも、どこでも、誰でも必要なときに必要な医療サービスが受けられる」事を目標に医療を行ってきました。「2足のわらじ」の言葉に表されるように、第一線の医療から専門医療まで包括的に担ってきました。しかし、医療の高度化、専門分化と診療圏拡大の流れの中で、より広域に従来の医療を提供することは難しくなっています。このことは、国や県の地域医療計画が示すように「病院完結型医療体制」から多施設連携による「地域完結型医療体制」への流れを意味するものです。そこで、地域の医師会の先生方や他の医療機関のご協力を得ながら、地域全体で「2足のわらじ」を履き、医療の提供が滞らないことを考える事にしました。それが、今回の再構築の提案です。
- ② 基幹医療センターは、原則として紹介型の病院を目指した救急・急性期医療・専門医療に特化した病院です。風邪などの一般的な病気での受診は差し控えて頂き、他の医療機関や地域医療センターを受診していただくことになります。
- ③ 夜間・休日の救急患者は、医師会の先生方や他の医療機関の協力を得ながら、1次救急（風邪などの軽い病気）患者は基幹医療センターに集中しないシステムを構築したいと考えています。
- ④ 基幹医療センターは、急性期の治療を中心に行います。急性期の治療が済んだ後は、スムーズに転院が出来るように他の医療機関との連携を密にすることが重要です。（地域医療連携機能の強化）
- ⑤ 地域医療センターは一般診療および救急診療を行うとともに、生活習慣病を中心とした慢性疾患の指導・教育・学習のセンターとして生まれ変わります。また、保健、福祉の分野を拡充して、保健・福祉のまちづくりを推進します。（他施設、団体、住民参加）

II. 再構築の前提

- ① 施設の建築計画
一期：3～4年後の基幹医療センターの完成
二期：6～7年後の地域医療センターの建て替え完了
三期：医療情勢や運営状況を勘案した補完工事
- ② 基幹医療センターの建設費用概算
一期工事は最大で450床規模とする。1床当たり約2500万円
- ③ 基幹450床＋地域医療センター300床、合計で750床。
- ④ 両センターの運営には、医師他のスタッフの増員が必要である。計画にあわせて積極的に増員を図る。（担当職員の配置）しかし、現状の医師不足のおり増員が間に合わないことも考えられる為、運営に関しては弾力的に行う。

III. 両センターの機能分担の考え方

【基幹医療センター】

- ① 救急・急性期医療・専門医療に特化したセンター病院。
外来は紹介患者・救急患者・予約患者の診療を行う。身近な医療機関で対応可能な疾患は、当該医療機関で治療していただくような仕組みを設定する。（診療連携強化、特定療養費、地域医療支援病院など）
- ② 複数科が連携したセンターとすることで機能の向上を目指す。
ex) 小児・周産期医療センター：小児科、産婦人科、麻酔科、手術室、NICU・・・
脳卒中センター：脳外科、神経内科、リハビリ科、血管造影室、SCU・・・
循環器病センター：心臓外科、循環器内科、血管造影室、CCU・・・
- ③ 救命救急センター
ER化（救急の専門スタッフで運営する）を行い、2～3次の救急を行う。
現状の佐久地方は、1次救急の病院依存率が高い。本来の救急業務の妨げにならないように、1次救急は医師会や他の医療機関との連携による分散化を図る。
- ④ 高機能診断センター：他の医療機関に医療施設・機器の共同利用を促進する。
- ⑤ 救急医療、集中治療室、手術室との関連が少ない診療科、診療グループ、診療内容は臼田の本院で継続して診療を行う。

【地域医療センター】

- ① 医療・保健・福祉を包括的に提供する本院。
- ② 慢性期の医療、一般医療（特に生活習慣病）、リハビリを中心に診療を行う。
- ③ 健康管理センター、健康増進センターを中心に保健活動を行う。
- ④ 福祉施設を周辺に配置、誘致し福祉のまちづくりに協力する。
- ⑤ 1次～2次の救急を行う。
- ⑥ 健康増進センターは、保健・医療・福祉の領域で共同利用する学習・教育のセンター。
・保健：健康増進、メタボ対策、健康教室・・・
・医療：生活習慣病の指導・教育、慢性期リハビリ（循環器リハ、呼吸器リハ）
・福祉：介護予防（転倒予防、認知症予防、口腔ケア）
- ⑦ 地域医療センター内の診療の整理を行う。
・一般医療、専門医療、家庭医の役割を一人の医師が掛け持ち（2足のわらじ）してきた状況を整理し、専門分野を中心に診療を行う医師も配置する。
・一般医療や家庭医の役割を医師会や他の医療機関との連携によって分散化を図る。

※1次救急とは、かぜで高熱が出たときや頭がいたいとき、もしくはちょっとした切り傷（家で処置できないくらい）などのときに、診察してもらうところです。（一般的には救急当番の診療所や医師会等で運営している夜間急病センターなどが、1次救急対応施設になります）

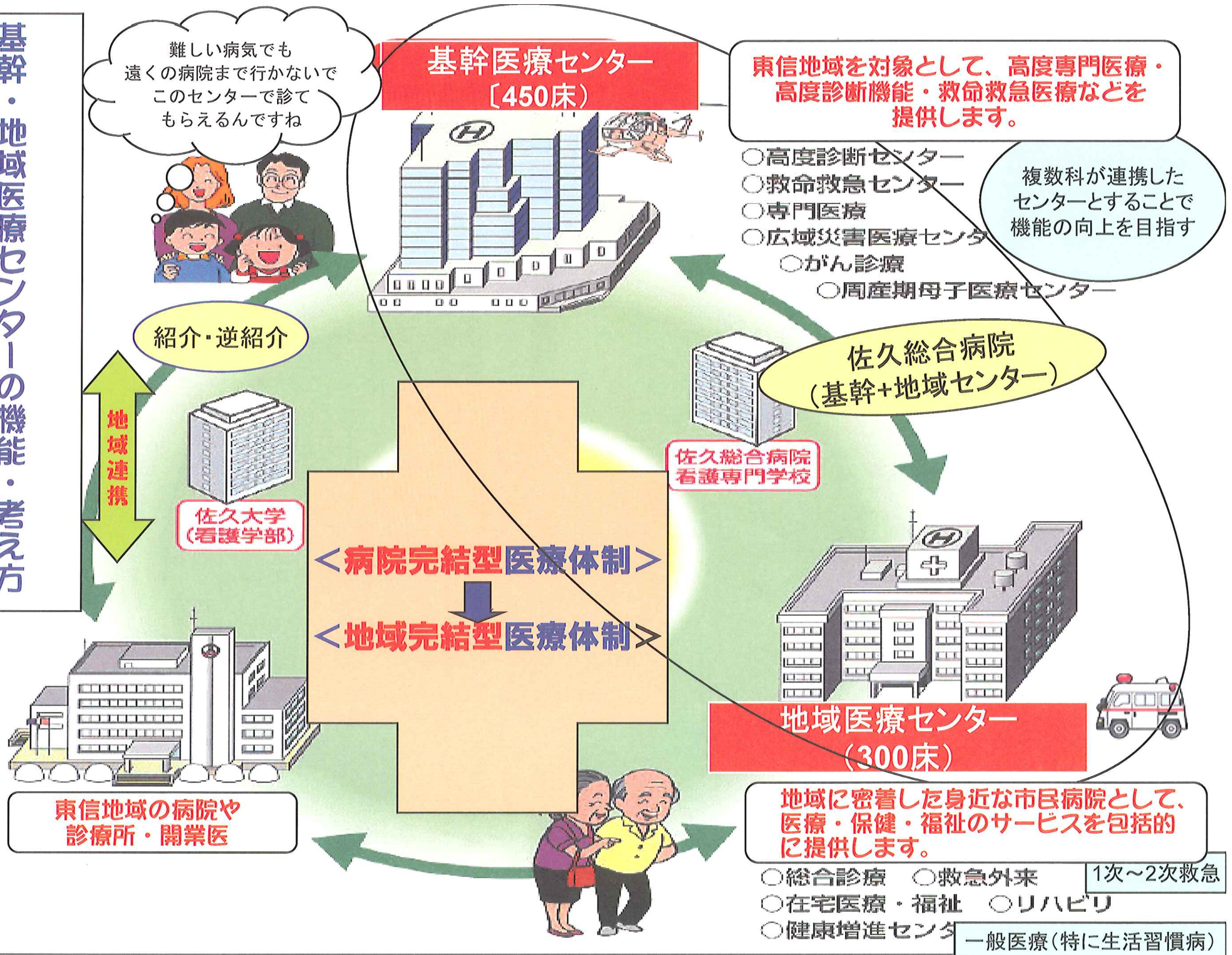
2次救急とは、1次救急対象患者よりも重篤な患者を受け入れるところで、入院や手術に対応できる施設です。

3次救急とは、2次救急よりも重篤で生命の危機に直面している患者を受け入れる施設です。大学病院や救命救急センターなどが3次救急施設に該当します。

地域医療センター・基幹医療センターの主な機能(案)

地域医療センター(仮称)		名称	基幹医療センター(仮称)	
2次医療圏での市民病院的役割		位置づけ	広域(3次医療圏)における基幹病院	
佐久市臼田(現在地)		整備場所	佐久市(ツガミ跡地)	
外 来	・総合診療科	主な機能	センター機能	*救命救急センター
	・内科(胆・肝・膵・内分泌・代謝・呼吸器・循環器・腎等を含む)		*がん診療センター(がん診療連携拠点病院)	
	・胃腸科		*高機能診断センター(共同利用含む)	
	・神経内科		*小児・周産期医療センター	
	・心療内科		*消化器病センター	
	・泌尿器科		*循環器病センター	
	・外科(消化器・乳腺・一般)		*呼吸器病センター	
	・麻酔科(ペインクリニック)		*脳卒中センター	
	・整形外科		*災害拠点病院	
	・形成外科		・紹介型外来	
	・眼科		・専門外来(各科)	
	・皮膚科		・外来化学療法	
	・耳鼻咽喉科		・放射線治療	
	・脳神経外科			
	・リハビリテーション科			
	・歯科口腔外科			
入 院	・精神科	手術	手術	・中央手術センター
	・外来透析			・内視鏡下手術
	・精神科デイケア			・血管内治療
	・フットケア外来			
	・救急外来			
	・手術(日帰り手術等)	手術	入院	ベッド数
				・救命救急センター 20
				・ICU 10
				・がん診療センター(がん診療連携拠点病院) 180
				{呼吸器病センター (35)
入 院				消化器病センター (80)
				{ 乳腺 (10)
				婦人科 (20)
				{ 血液 (35)
				・脳卒中・循環器病センター(SCU,CCU含む) 50
				・周産期母子医療センター(NICU含む) 60
				・地域医療支援病棟(地域の医療機関からの紹介受入れ、各科混合病棟、HCU) 90
				・緩和ケア病棟 20
				・人間ドック 20
				合計 450
診断機能		高機能診断センター	・放射線診断部門(X線、CT、MRI、RI、血管造影)	
在宅ケア			・PETセンター	
			・内視鏡検査	
			・臨床検査部門	
健康管理				
教育・研究		教育・研究	・治験部門	
			・研究部門	
			・研修医研修、医学生実習	
			・看護学生ほか学生実習	
教育・研究		教育・研修	・海外研修生受け入れ	
			・救急救命士研修(メディカルコントロール)	
			・看護師教育研修	

基幹・地域医療センターの機能・考え方



地域医療センター

（佐久総合病院本院）

1. 基本的な方向性

地域に密着した市民の病院として、医療
保健・福祉サービスを包括的に提供する

■救急を含む一般診療の提供

（1）各科・一般外来

（2）リハビリ医療の充実

■健康増進センターの整備

■在宅医療の充実・介護施設との連携

■「医・職・食・住・友・遊」の創出

■南佐久医療機関との連携

2. 病床数

一般病床 回復期リハ病床 精神病床
緩和ケア病床 計300床

3. 各種機能

地域一般病院として市民病院的な診療機能
の整備、在宅ケア・健康管理センター、
地域医療の研修施設整備

4. 医師数

約60名

【地域医療センターイメージ】



【基幹医療センターイメージ】



1. 基本的な方向性

高度医療を集約し、広域によりよい
医療を提供する

■高度医療センターの創設

（1）各疾病に対するセンター機能

（がん、脳卒中、急性心筋梗塞 他）

（2）救命救急センターの充実

（3）小児・周産期医療センターの充実

■高機能診断センター（共同利用の充実）の整備

■高度医療の研修・教育施設

■広域災害医療センター

■広域医療機関との連携

2. 病床数

一般病床 救命救急センター ICU

緩和ケア病床 人間ドック 計450床

3. 各種センター機能

救命救急センター、がん診療センター
小児・周産期センター、循環器病センター
消化器病センター、脳卒中センター
呼吸器病センター、高機能診断センター
災害拠点病院、高度医療研修施設

4. 医師数

約120名

（注）この再構築計画（案）は、7月住民説明会時の参加者からの要望等により一部変更されています。
11月の説明会資料を参照してください。

地域医療センター＜臼田現在地＞

医・職・食・住・友・遊

どちらの病院を受診したらいいですか？ Q&A

地域医療センター(本院) (市民病院としての役割)	主な病気や症状	基幹医療センター (手術・放射線治療・化学 療法・救急車対応／紹介型 病院)
○	高血圧症	
○	糖尿病	
○	腰痛症・関節痛など	
○	一般的な風邪 (急性上気道炎)	
○	肺炎・喘息	
○ (症状・診断により 基幹医療センターへ紹介します)	心筋梗塞 (の疑い)	○ (循環器病センター)
○ (症状・診断により 基幹医療センターへ紹介します)	突然の頭痛と意識障害 (重度の脳卒中が強く疑われ る場合)	○ (脳卒中センター)
	産婦人科の病気とお産	○
○	こどもの病気	○

※ その他の一般的な病気や症状の方は地域医療センターを受診して下さい